

# 令和 2（2020）年 5 月市長定例記者会見の概要と質疑応答

令和 2（2020）年 5 月 13 日（水曜日）  
午前 11 時～午後 0 時 10 分  
柏崎市役所大会議室

## 1 発表事項

### (1) 新型コロナウイルス感染症の拡大による経済対策および生活支援を迅速に実施

（主管：商業観光課、ものづくり振興課、福祉課、市民課）

一つ目は市独自の経済対策で、柏崎市小規模事業者経営支援補助金です。マイナスの影響を受けている小規模事業者に対して事業継続を支援するため、10 万円を補助します。3 千万円の補正予算から始まりましたが、5 月 12 日付けで 2 億 5 千万円の専決処分をさせていただきました。この小規模事業者経営支援補助金の追加が主になります。

この補助金の対象となり得る従業員 20 人以下の事業者数は、全体で 3,754 です。5 月 12 日現在で 300 事業者から申請をいただきました。この 300 事業者の昨年同月比の売上減少率を算出したところ、平均はマイナス 59.3%でした。一番申請が多い業種は、132 事業者から申請があった「宿泊業、飲食サービス業」で、昨年同月比の売上減少率はマイナス 60.8%です。二番目は、55 事業者から申請があった「卸売業・小売業」で、減少率はマイナス 52.3%です。三番目は 26 事業者の「建設業」で、減少率はマイナス 61.2%です。四番目は 25 事業者の「生活関連サービス業、娯楽業」で、減少率はマイナス 59.4%です。五番目に 20 事業者の「製造業」で、減少率はマイナス 61.2%でした。

従業員 20 人以下、前年同月比で 30%以上の減少率などの条件がありますが、申請をいただければ、7 日以内に振り込みをさせていただきます。商工会議所の広報なども使いながら周知をしていますが、まだ足りていませんので、皆さんからもお力添えを賜りたいと思っています。この補助金に関しては、複数回を予定しています。昨年と比べて売り上げが約 60%も減っているという状況は、非常に厳しいと考えています。ぜひこの補助金をお使いいただきたいと思います。

二つ目も市独自の経済対策で、柏崎市緊急雇用安定給付金です。国の雇用調整助成金、もしくは緊急雇用安定助成金制度を利用した市内事業者に 5 万円を定額で給付します。これは、雇用調整助成金の制度が非常に複雑で、まだあまり活用されていないため、柏崎市の給付金も活用されていないのが実情です。この雇用調整助成金の申請に関して、商工会議所が 19 日に説明会を開くと聞いています。事業者の方々からは、この雇用調整助成金をお使いいただき、

雇用の安定を確保してもらいたいと思っています。

三つ目も市独自の経済対策で、信用保証料補給および利子補給です。信用保証料の全額と支払利子額の一部を補給します。

四つ目は国の制度で、持続化給付金です。前年同月比で売り上げが50%以上減少している法人に200万円以内、個人事業者に100万円以内で事業継続のための給付金を支給します。先ほど申し上げたように、市内の小規模事業者においては、平均して前年同月比がマイナス60%でしたので、多くの事業者がこの制度もお使いいただきたいと考えています。持続化給付金に関しては、5月24日に、産業文化会館の一階展示室で市内の相談窓口を開きたいと考えています。

次は、元気発信応援プロジェクトです。これも柏崎市独自のものですが、柏崎市出身の県外で頑張る学生向けにお菓子の詰め合わせを送って応援します。また、柏崎ファンクラブの県外会員の方々に柏崎の特産品のパンフレットを送り、柏崎の事業者を応援していただきたいというプロジェクトです。学生応援に関しては、現在のところ652人から応募をいただき、お菓子をすでにお届けしています。対象は千名ほどいますので、引き続き周知をしたいと考えています。おかげさまで、多くの学生から非常に良い反応のメッセージをいただいています。柏崎ファンクラブの県外会員約3千人の方々に、柏崎の特産品を購入していただきたいと呼びかけをさせていただいたところ、現在までに384人から523件のお申し込みをいただいています。

次に、国の制度による生活支援です。子育て世帯への臨時特別給付金は、5月29日に支給を予定しています。特別定額給付金は、ゴールデンウィーク中に発送作業はほとんど終わり、早いところでは、7日に郵便による申請書類が届いています。オンライン申請は1日から始めさせていただき、早い方は5月8日に振り込みをさせていただいています。郵送による申請については、5月12日から振り込みを始めさせていただいています。昨日までに、対象約3万5千件のうち1万9,544件の申請をいただきました。申請の内訳は、郵送や窓口による申請が1万9千件ほど、オンラインでの申請が550件ほどでした。すでに振り込みをした件数は1,514件です。うち郵送や窓口での申請によるものが1,056件、オンラインでの申請によるものが458件です。残り1万8千件ほどありますが、現在平均して1日4千から5千件の振り込み作業を継続していますので、今月の20日前後には、今まで申し込みをいただいた方々への振り込みは終わると考えています。申請はまだ全体の55%ほどですので、これからの申請についても対応をさせていただきたいと思っています。

## **(2) 柏崎市奨学金の追加募集を行います**

(主管：教育総務課)

新型コロナウイルス感染症拡大により、学生がアルバイトもできなく、学業の継続が困難だという声も出始めてきています。これまで、柏崎市の奨学金は1年生の時から受けることを前提に募集していましたが、2年生以上も追加募集をさせていただきます。5月29日まで受け付け、6月から支給します。そのためには、条例の一部改正が必要ですので、議会に提出させていただく予定です。認められましたら、4月分、5月分も遡及して支給します。応募いただく方が1人であったとしても、学業を途中で諦めることのないように、ぜひこの制度をお使いいただきたいと思います。また、柏崎に戻ってこられた場合には、前年償還分の2分の1、もしくは10万円のいずれか低い額を補助するウェルカム柏崎ライフ応援事業補助金もありますので、併せてご利用いただきたいと思っています。

## **(3) 柏崎市美術展覧会をWEB展示場で初開催**

(主管：文化・生涯学習課)

柏崎市美術展覧会をWEB展示場で初開催します。開催は10月1日から11月30日までです。県展も中止が決まったところですが、この市展を目標に制作活動をされている市民の方々も大変多いと承知しています。ソフィアセンターなどで展示をして、多くの方々に実際に作品を見ていただくのが一番良いですが、この状況では難しいため、WEB上での展示とさせていただきます。もちろんこの新型コロナウイルスが終息すれば、文化会館アルフォーレなどのギャラリーでも優秀作品は展示させていただきたいと考えています。これをきっかけに、毎年、実際の展示も行いますが、WEB上での市展も積み重ねて過去の作品も見ることができるようになったらと思っています。市民の皆さんからは、外出しにくい状況で作品の制作に励んでいただき、WEB上ではありますが、よりたくさんの方々に見ていただくチャンスであると前向きに捉えていただき、ぜひ応募していただきたいと思っています。

## **(4) 令和2(2020)年産米山プリンセスの作付けがスタート**

### **—期待の若手生産者と市長が田植えで豊作祈願**

(主管：農政課)

今年は西山町新保の田んぼで、若い農業者である株式会社アグリード越後の加藤さん兄妹と一緒に、米山プリンセスの田植えを行います。去年は夏暑く、水が少なかったため、残念ながら27者の取り組みで米山プリンセスとして認定された方は3者で、収量も2トンほどで

した。今回、アグリード越後さんと一緒に田植えをしながら今年の豊作を願い、皆さんからのお力添えも得て、米山プリンセスをより多くの方々にご紹介したいと思っています。

#### **(5) 常設の移住オンライン相談窓口を開設**

(主管：元気発信課)

常設の移住オンライン相談窓口を、柏崎コワーキングスペース「K. Vivo」内に開設します。市外や県外在住で、柏崎に戻ろうかな、柏崎に住もうかなという方がいらっしゃいましたら、お一人でもお二人でもご相談させていただきたいと思います。わざわざお越しいただくなくても、オンラインで相談をお受けします。

#### **(6) ブルボンウォーターポロクラブ柏崎の選手が協力！**

**「いえスポ」と「水球すごろく」を使って自宅で楽しく過ごそう！**

(主管：スポーツ振興課、水球のまち推進室)

外出しにくい中、「いえスポ」と「水球すごろく」を使って自宅で楽しく過ごしていただきたいというものです。残念ながら東京オリンピックが1年延期になりましたが、柏崎期待の水球の中核をなすブルボンウォーターポロクラブ柏崎の皆さんから、家の中で少しでも体を動かしてもらえるように協力していただきました。他にも、柏崎市のスポーツ協会、レクリエーション協会、からだ Fine! からご協力いただきました。「水球すごろく」も、自宅でお子さんたちに楽しんでいただき、少しでも水球に興味を持っていただきたいと思っています。

#### **(7) 東中学校改築事業基本設計が完成**

(主管：教育総務課)

東中学校改築事業の基本設計が完成しました。1975年にできた東中学校ですが、非常にたくさん生徒が通い、プレハブで対応していた時期もありました。生徒や保護者の皆さんにご心配やご迷惑をおかけしましたが、ようやく改築事業の基本設計ができました。人数に合わせた適正な規模で、特にバスケットボールが盛んな中学校ですので、バスケットボールコートは2面を確保しています。東中学校は40年前に統合してできた中学校で、植えた木も40年間育ってきましたが、なるべくこの木を残し、緑を保ちながら新しい校舎を作り上げていきます。保護者の皆さんが、送り迎えしやすいように駐車場をたくさん取らせていただいで、安全も確保しました。今年度、実施設計に入りますが、実施設計の途中でも、保護者や地域の方々にお話をいただきながら、修正できる部分は修正しながら実施設計を重ねていきたいと考えています。

## 2 質疑応答

### ◎小規模事業者経営支援補助金に関する質問

**記者：**市長はこの間、第二の経済対策について話していたが、この定額 10 万円の他にも何か考えていることがあるのか。

**市長：**2 つあります。1 つは、特に宿泊業へのマイナスの影響が非常に大きいので、宿泊業を対象とした新たな支援を考えています。これは、22 日の随時会議に間に合わせたいと考えています。もう 1 つは、柏崎の産業基盤である製造業を対象とした支援です。自動車産業が非常に大きな影響を受け、製造業も非常に状況が悪くなってきていることを数字として把握しています。また、小規模事業者に対する 10 万円は、2 回目をすでに考え始めています。

**記者：**製造業については 20 人以下という規定ではなく、20 人を超える社員がいるところも対象になるのか。

**市長：**そうです。

**記者：**宿泊業に対する支援は 22 日の随時会議に間に合わせたいとのことだが、製造業に対する支援も 22 日の随時会議なのか、それとももう少し時間がかかるのか。

**市長：**なんとか 22 日に間に合わせたいと思っています。

**記者：**小規模事業者経営支援補助金への追加の専決処分を含めると、事業費として 2 億 8 千万円になり、20 人以下の規模の事業者の 7 割程度の申請があっても対応できる規模感だと思うが、市長としては、今後どのぐらい申請がくると考えているか。

**市長：**30%のマイナスという基準は、多くの方々が当てはまるのではないかと考えて 7 割にしました。正直なことを言えば、そんなにたくさんの企業がマイナスであっては困るという思いもありますが、実際に、もしそれだけ多くの企業の方々がマイナスだった場合には、1 社も見過ごすことなく対応させていただきたいということで、今回の予算を取らせていただ

きました。

**記者：利益がほとんど出ない事業者が多く、雇い止めや失業が出かねない状況だと思うが、雇用の状況について市長はどのように見ているか。**

市長：国の雇用調整助成金の制度と市単独の補助金 5 万円の制度も生かしながら、なるべく雇用の維持をお願いしたいところです。小規模事業者に対する 10 万円の給付も、なるべく雇用を維持していただきたいという思いを込めて、2 回目を考え始めています。1 回目で 2 億 8 千万円ということになると、もう 1 回やれば 5 億 6 千万円になりますが、覚悟はしているつもりです。国に対しても、この雇用調整助成金の制度をもう少し簡素にしてもらいたい旨を話していきたいと思います。

#### ◎小中学校の再開に関する質問

**記者：小中学校の通常授業の再開は、政府の新たな方針を聞いてから対応するという話をしていたと思うが、現状もその考え方に変わりはないか。それとも、すでに 18 日以降の対応は決めているのか。**

市長：給食は 18 日から小学校、中学校とも始めます。つまり、18 日から通常の授業を行いたいという考えは持っています。最終的には、14 日に国と県の方方向性を確認してから決定したいと思います。通常授業を行ってもらいたいという私の意向はすでに伝えてあります。

#### ◎新型コロナウイルス感染症への東京電力の対応に関する質問

**記者：先般東京電力で会見があつて、順次工事を再開するということ、コロナ対策の取り組みについて発表があつたが、この間の東電のコロナに対する対応と、工事を再開していくことについて、市長はどう受け止めているか。**

市長：東京電力の工事を連休前に比べて 8 割ぐらい減らしたという部分に関しては、私どもの要請に対して真摯に、スピーディーに対応していただいたと評価しています。結果として、

市内における新型コロナウイルス感染者は5名で留まっています。工事の再開については、一方的に東京電力に言われたわけではなく、私どもと複数回やり取りをしながら再開の方向性を決めていただきました。具体的に申し上げますと、例えば、どうしても県外から来なければならない作業員の方々はどうしたらいいかと相談を受けました。私は、新潟県が行う工事において、県外から特殊な技能を持っている方が来る事例もあるという話をしました。その場合、新潟県に入ってくる前の2週間、どういう状態であったのか、どういう行動であったのかを確認して、マスク着用や検温も行い、県内の作業員の方々と休憩場所も昼食を取る場所も分けると県から伺いましたので、それを東京電力にも伝え、少なくともそれは同じようにやっていただきたいと申し上げました。その結果、どうしても県外から来なければならない作業員に関しては、市内で1つ、2つ場所を決めて、そこで2週間ほど寝泊まりをしながら原発のサイトと往復をして、そこから基本的には出ないというかたちで、市民の皆さんや他の作業員の方々と分けて、不安を軽減すると東京電力から提案されました。飲食業の方々にとっては、あまりプラスではないと思いますが、新型コロナウイルス感染症が拡大する可能性もあるため、不安を和らげる方策としてはいいのではないかと判断しました。

### ◎新型コロナウイルス感染症の東京電力の検証結果に関する質問

**記者：以前、市長が小早川社長宛てに出された文書の中で、東京電力社員の感染が続いていることについて、今後の対応策だけでなく、なぜこうなったのかという検証と、その検証結果の公表も求められたと思う。東京電力側の会見などを見てみると、感染源がはっきりしないということもあって、なぜこうなったのかという検証については十分に行われているのかよくわからない点があるが、市長はどのように感じているか。**

市長：私自身もなぜこのようなことになったのか、感染源が何なのかという部分は、東京電力もかなりプライベートなことまで含めて調べたと聞いていますが、結果としてわからないのが正直なところです。また、これは県が所管する部分ですが、県もどこからどういうふうにこの感染が起これ、5人に至ったのかは解明できていないということでした。私もそれを解明してもらいたいと要望しましたが、それに対する明確な答えは得られてないという状況です。

## ◎新型コロナウイルス感染症の中での災害対策に関する質問

**記者：**新型コロナウイルスで密集を防ぐというときに、例えば自然災害や原子力災害が起きて、どこかに避難しなければならないという場合、密集を防ぐ方法などが議論されているが、柏崎市として何か考えはあるか。

**市長：**原子力災害、自然災害ともに起こってもらいたくないですが、可能性としてはもちろんゼロではありません。現在、市で行動規範を含めて見直しているところです。これは、今回の新型コロナウイルス感染症が広まったからということではなく、国の指針などに基づいて大規模災害のときにどうしたらいいのか、加えて、原子力災害が起こったときにどうすればいいのかということを見直しているところですので、それを随時適用させていただきたいと思っています。現実的には、いざ災害が起こり、学校の体育館などが一時的な避難場所になった場合に、ソーシャルディスタンスが確保できるかというところはなかなか難しいだろうと思います。どこの自治体の長も同じことを考えているだろうと思いますが、例えば体育館のみならず校舎全体を使うというように応用問題として考えていかなければならないと思っています。

## ◎新型コロナウイルス感染症のPCR検査センターに関する質問

**記者：**市内にPCR検査センターが設置されるという報道があったが、その辺の受け止めは。

**市長：**市内の公共施設などを利用し、主体は新潟県で、柏崎市刈羽郡医師会の方々に協力をいただき、18日に開設する予定です。市民の皆さんの安心が少しでも増すことになればありがたいです。また、県の取り組み、医師会の先生方のご協力には、心から感謝申し上げます。

## ◎使用済み核燃料税に関する質問

**記者：**使用済み核燃料税に関して、総務省との協議がいつぐらいから始まるのか。

**市長：**すでに総務省には、議決されたということは連絡しましたが、私どもも直接伺えない



のが実情です。担当課長から詳しく説明してもらいます。

税務課長：7日に協議書を総務省に郵送で送付しました。

### ◎核燃料サイクルに関する質問

**記者： 今日、六ヶ所村の再処理工場が事実上審査合格になるかもしれないという話があり、それと関連して、核燃料サイクルの現状や考え、柏崎市への影響などを教えていただきたい。**

市長：私も報道などで六ヶ所村の再処理施設の審査が進み、最終段階に来ているのは承知しています。進んでいない、見込みがないという議員もいらっしゃいましたが、私は2つの理由から見込みがあると思っています。1つは、今申し上げたように六ヶ所村は最終段階に来ています。もう1つ、むつ市の一時保管施設に関しては、一時保管施設を造って条例を制定したということそのものが、もう最終段階にきているということです。これからまだ工事などもありますので、核燃料サイクルを進めるという国の方針をしっかりと進めてもらいたいと考えています。

**記者：今のところ柏崎市にすぐに影響はないが、その辺りはどうか。**

市長：すぐに影響はないだろうと思いますが、使用済み核燃料税条例の経年累進課税化に理解をいただけなかった方々から見ると、私が申し上げていることの根拠として機能し始めているのではないかと考えています。